

社会福祉だより

# あわせ

2022(令和4)年7月1日 167号

総 人 口 6,491人

65歳以上人口 2,862人

高 齢 化 率 44.09%

2022(令和4)年6月1日現在



あの頃



智頭町社協法人化



周年

おかげさまで

こんにちは!智頭町社協 花のようせい、きょうちゃんです!!  
きょうちゃんのほうしは、智頭町の6地区をイメージしているよ!  
これからもよろしくね!



50周年マスコットキャラクター  
きょうちゃん

## 智頭町社会福祉協議会



# 法人設立50周年 記念特集

## 智頭町社協の誕生

智頭町社協が誕生したのは昭和38（1963）年7月のこと。

当時の智頭町役場の中に任意団体として誕生しました。まだ専任の職員はいなくて役場福祉課の業務としてスタートしました。

役場は今の山陰合同銀行の場所にありました。今の時代を予測するかのように、同じ月に「老人福祉法」が公布されています。

智頭町社協では、誕生当時から民生委員さんと連携した取り組みが行われていました。

昭和38（1963）年12月には心配

ごと相談、昭和40（1965）年9月には社会福祉金庫の貸付

が始まっています。どちらも今

も続いている取り組みです。

この頃、世の中には「高齢化」という言葉が出始め、今の

ホーメヘルパーの前身である

「老人家庭奉仕負制度」が始ま

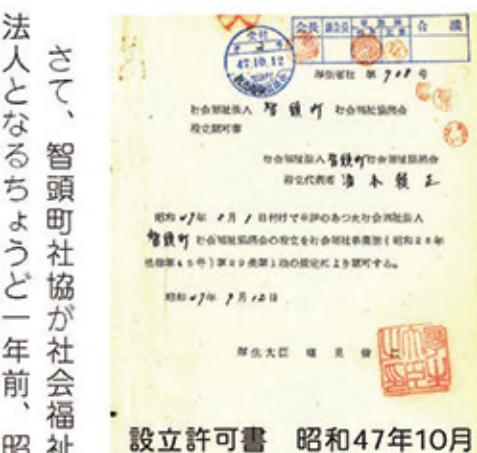
ります。

智頭町社協では昭和45（1970）年4月、当時は助産婦だった方を家庭奉仕員として採用し、主に独居の高齢者を訪問する業務がスタートしました。ちょうど大阪万博があつた時です。智

そのためのさまざまな仕組みを住民の皆さんと共に創つてい

これが智頭町社会福祉協議会の大きな役割です。

法人設立50周年を記念して今までの「志あわせ」誌上で特集記事を掲載してまいります。



さて、智頭町社協が社会福祉法人となるちょうど一年前、昭和46（1971）年10月には当時の保育園保母だった方を初めての社協専任職員として採用、備が進みはじめました。

頭町社協のヘルパーステーションは、実は法人そのものよりも長い歴史があるのです。

その翌月、会長（＝当時は町長が兼務）を責任者に「法人化研究特別委員会」を設置、社会福祉法人設置についての議論が始めた。

そして、社会的信用向上のためにも法人化を急ぐ必要がありま

りました。多額の社会福祉金庫を取り扱う組織として、あるいは家庭奉仕員を派遣する組織

が研究特別委員会」を設置、社会福

祉法人設置についての議論が始

ました。

社会福祉協議会（社協）は地域福祉の推進を目的に、全国の都道府県・市町村に設置されています。

地域の人々が抱えている福祉の困りごとを、住民の皆さん・民生委員さん・福祉施設・行政・保健・医療・介護・教育の関係機関と協働し、解決するためのさまざまな活動を行っている民間組織です。

人が暮らしが営むかぎり、地域には解決すべき福祉の困りごとが常に存在します。その福祉の困りごとを少しでも解決し、住み慣れたこの町で、いつまでも安心して暮らしていく

人のためのさまざまな仕組みを住民の皆さんと共に創つてい

く：これが智頭町社会福祉協議会の大きな役割です。

## 智頭町社協誕生の頃を振りかえる



ひさもとたかこ  
久本孝子さん  
(元智頭町社協職員)

【聞き手】

智頭町社会福祉協議会

常務理事 津田 英樹

：久本さんは昭和46（1971）年10月に採用されています。

今、民生児童委員会の副会長をされておられますし、智頭町社協の評議員にもなつていただいているだけです。毎週、お会いしている時はないくらい、本当にお世話になっています。今日は、法人設立当時のことをよくご存じの、また、私たち社協職員の大先輩として、当時を振り返つていただきたいと思います。

：久本さんは昭和46（1971）年10月に採用されています。  
今、民生児童委員会の副会長をされておられますし、智頭町社協の評議員にもなつていただいているだけです。毎週、お会いしている時はないくらい、本当にお世話になっています。今日は、法人設立当時のことをよくご存じの、また、私たち社協職員の大先輩として、当時を振り返つていただきたいと思います。

いえ、法人化の準備そのものは役場の福祉課長と課長補佐が担当されていました。当時、役場は今山陰合銀さんのところにありましたが、その役場の福祉課の前に机を置いて、私は主に経理の仕事を中心に、共同募金や寄付金の管理、福祉資金の貸付、老人クラブや遺族会などの団体事務の業務をしていました。携帯電話もない時代ですので家庭奉仕員（ホームヘルパー）への連絡や問い合わせ対応もたくさんありました。

私の役割は、法人設立後、社協が法人としてしっかりと独立していけるように日々の仕事をきちんと整理していくことだつたのかなと思います。

社協の「専任職員第一号」で思うのは、法人化のための実務をされていたのかなと思つてしまふのですが：

■久本

助けていただいたのが県社協でした。当時は近隣の町村でも同じように社協の法人化が進んでいたので、県社協が市町村社協の法人化後の支援をしてくれていました。毎日のように電話をして質問攻めにしていましたよ。助けてもらいましたねえ。

法人化して一年半くらい経つた頃、家庭奉仕員が3名になつて、ようやく地区を分担できるようになつたんです、当時はバスに乗つて移動してましたけど、夕方になると「乗り遅れたから迎えに来て」って電話が入るんですよ。よく迎えに走つたものです。

50年前と違つて今の社協

住民さんに信頼してもらえるように仕事をしてください」ということです。今風に言えば「コンプライアンスを大事にして」ということかな。

50年前と違つて今の社協

### 振りかえる



■久本

今も覚えているのは、会計処理が大変だったことです。行政の会計処理と、社会福祉法人の会計はまったく別物ですよね。私は会計の概念がわからなくて本当に苦労しました。

■久本

任職員として、私たち今の社協職員に「これだけは言つておきたい」ひとことをお願いします。言つておきたいことはたくさんあるけど、ひとことだけ。(笑)

：むしろ法人化した後のほうが大変だったのではないでしょか？

■久本

言つておきたいことはたくさんあるけど、ひとことだけ。

（笑）

信用をなくすような仕事をしたら絶対ダメよ、と強く言っておきますね。

：ありがとうございます。しつかり肝に銘じておきます。

：バスで移動できるくらいの本数があつたわけですね（笑）さて、智頭町社協の最初の専

10年後、ぜひ一緒に60周年のインタビューを受けておきましょうね。



# 協議会50年のあゆみ

活動計画を町と共同で策定 10月 社会福祉法人化50周年 2022年

新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの行事を中止 2020年

5月 令和に改元 2019年

8~9月 広島市・岡山県真備町へ職員派遣 2018年

10月 智頭郵便局で出張心配ごと相談開始 2017年

災害ボランティアセンターへ職員を派遣 2016年

を開始 10月 成年後見事業を開始 2015年

職員派遣 10月 ホームページ開設 2014年

保護の方の入所が可能になる) 2012年

等へ職員派遣(4~7月) 2011年

佐用町水害救援物資募集 2009年

の指定管理受諾を決定 2008年

介護・行動援護)開始 2006年

「ほのぼの」へ移転 2005年

社会福祉法人化 2004年

智頭町に移管 2002年

金の実施 2000年

開催 1999年

1998年

1996年

1月 阪神淡路大震災 救援物資の募集と現地への運搬

5月 社協バス専任職員を配置 小地域福祉座談会を開催(30会場)

心和苑短期入所開始 智頭デイサービスセンター開設

に改元 12月 グループホーム「自立の家」開設(自立の会)

輪運動を開始

(ひとり暮らし老人憩いの日)を開始

福祉センター(ひまわり会館)に移転 12月 智頭町赤十字奉仕団結成

老人等入浴サービス)開始

設立 11月 県立智頭心和苑開設

内に移転 12月 第1回町民福祉大会を開催

ツ大会開催

23日 法人設立登記 12月 広報「志あわせ」第1号発行



1963年7月 智頭町役場内に誕生



1972年12月 「志あわせ」第1号発行



昭和54年度土師地区社会福祉大会

1979年 地区社協設立



2018年7月  
災害ボランティアセンター開設



2016年9月  
自立の会との合併調印



2008年10月  
第1回ほのぼのフェスタ開催



2009年3月  
智頭心和苑指定管理協定締結



1982年  
給食サービスを開始





# 智頭町社会福祉

令和

3月 智頭町地域福祉計画・社協地域福祉

3月 24時間テレビから訪問入浴車の贈呈を受ける 社協バス事業を廃止 4月 生活介護事業を開始

7月 西日本豪雨により町内でも被害多発 初の災害ボランティアセンターを開設 (7月10~15日)

4月 自立の会と合併。フードバンク事業、新ひまわりシステムを開始 1月豪雪・7~8月豪雨等により町内で被害多発

4月 自立の会との間で合併検討委員会設置 9月 合併調印 12月 合併認可申請 10月 鳥取中部地震発生  
4月 生活困窮者自立支援事業 (家計支援)

4月 グループホーム「あおぞら」開設 (自立の会) 9月 広島県豪雨災害 災害ボランティアセンターへ

3月 災害ボランティアセンターマニュアル策定 4月 「社会福祉法人減免」開始 (智頭心和苑で生活)

3月 東日本大震災発生 義援金・救援物資の募集、名取市災害ボランティアセンターへ

4月 智頭心和苑・デイサービスセンターの指定管理開始、日常生活自立支援事業開始 9月

4月 ミニデイの要項を改訂 実施集落が21集落へ増加 10月 第1回ほのぼのフェスタ開催 11月 智頭心和苑

4月 介護予防事業開始 10月 障害福祉サービス (居宅介護・重度訪問)

2月 保健医療福祉総合センター「ほのぼの」竣工 (智頭心和苑建替え) 事務所

自立の会、

智頭心和苑が、鳥取県から

4月 介護保険制度開始 6月 ミニデイを開始 (15か所) 10月 鳥取県西部地震発生・義援金募

3月 社協バス入れ替え 小地域福祉座談会を74会場で

2月 在宅介護者の集いを開始 8月 福祉委員制度を開始

9月 障がい者小規模作業所「ぱれっと三田」開設 (自立の会)

1995年



1982年 訪問入浴サービス開始



1985年 24時間テレビから  
訪問入浴車を贈呈される

1993年

1990年 智頭

1989年 1月 平成

1987年 11月～ 愛の

1984年 ひまわり会

1983年 4月 事務所を老人

1982年 訪問入浴 (寝たきり)

1979年 8月～ 各地区に地区社協

1976年 4月 事務所を総合センター

1974年 10月 第1回智頭町老人スポー

1972年 9月12日 法人設立認可 10月

1971年 10月 専任事務職員配置

1970年 4月 老人家庭奉仕員配置

1965年 9月 社会福祉金庫貸付事業を開始

1963年 12月 心配ごと相談を開始

1963年 7月 智頭町社会福祉協議会 (任意団体) 発足



1970年 家庭奉仕員の活動



1980年 第4回老人福祉大会

昭和

新型コロナウイルスは、非常に高い感染力を持っています。そのため、感染予防対策を徹底している介護施設や医療機関であっても、クラスターの発生が後を絶ちません。介護施設等がクラスターとなる要因のひとつには、認知症を患つておら

れ、基本的に感染予防行動がとりにくい方やマスクの着用が困難な方などがおられることが關係があるとされています。

令和2年1月に国内で最初の新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されてから2年半が経ちましたが、未だに新型コロナウイルス感染症の脅威が収まることはありません。

新型コロナウイルスは感染力

## 感染症対策を徹底

- 感染症対策の強化
- 職員の勤務調整
- 関係者への連絡
- 全利用者家族等へ連絡
- ・ 手洗い、消毒など標準的な感染予防対策を徹底
- ・ 空間的隔離（ソーシング）



ユニット毎の境界に専用シートで区分けを行う

## 新型コロナウイルスの脅威

### 智頭心和苑 新型コロナウイルス感染症の発生を受けて



感染予防着を使用して居室で食事介助をしている様子

鳥取県内においても、毎日のようにどこかの介護施設で新型コロナウイルスの感染者が確認されているのが現状です。

## 智頭心和苑職員の感染確認

今年3月12日に、初めて職員の中からPCR検査で陽性が確認されました。その後、保健所と協働して、2日間にわたり心和苑の利用者様と職員の合計53名がPCR検査を受けました。幸いにも利用者様の中から陽性者が出たり、クラスターになることはなく、3月23日にこの件は終息しました。

### 【智頭心和苑での新型コロナウイルス感染症発生の経過】

3/12 (土)	職員からPCR検査の陽性者が1名確認される  保健所に報告及び対応を検討する（感染症対策を強化する）  接触のあった利用者と職員、計15名のPCR検査等を実施
3/13 (日)	PCR検査の結果、同じフロアの職員から新たに陽性者2名が確認される  陽性が確認された職員が担当するフロアの利用者と職員、計38名のPCR検査を実施
3/14 (月)	PCR検査の結果、全員の陰性を確認
3/18 (金)	濃厚接触者の隔離期間が終了となる
3/23 (水)	3/13 (日)以降、新たな陽性者は出ることなく、感染症対策を緩和する

## 新型コロナウイルス感染症の対応は計画通りにはならない

智頭心和苑では感染症発生時に、迅速かつ円滑に対応できるよう「感染症発生時における業務継続計画」を策定しています。

新型コロナウイルスは、分からないことが多い病原体です。その為、病原体に対する考え方が変わることが多く、対応も常に変化していきます。業務継続計画を事前に策定しても、数日後には、計画の根拠となる考え方方が変わることがあります。今回の経験をする中で、業務継続計画は、常時、見直していく必要があることを実感しました。ただ、業務継続計画を策定して良かった点は、専門職の役割を明確にしていたことです。そのおかげで、担当毎に情報を収集し的確に対応することができました。

症対策を講じましたが、それでも施設で新型コロナウイルス感染症の感染が確認されることは、本当に残念なことで、利用者様や家族様、関係者の皆様には申し訳ない気持ちです。

感染対応中に、皆様から「対応で大変だと思いますけど頑張ってください。」「体調を崩されないように。」「わざわざ電話してもらいありがとうございます。」などの温かいお言葉をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の対応は、肉体的にも精神的にも負担が大きいですが、皆様からいたたく言葉に支えられて、とても勇気づけられました。

新型コロナウイルス感染症の一 日でも早い終息を願いつつ、これからも利用者様が安心して生活できる支援を提供できるよう努めさせていただきます。

## 皆様への感謝

日々から、できる限りの感染

特別養護老人ホーム智頭心和苑

所長 高田 昌史之

2022年度  
社会福祉協議会

## 会費納入のお願い

### 全世帯にお願いしています

会員として会費にご協力いただくことは、町民の皆様が地域福祉活動に参加するひとつのです。そのため、智頭町の全世帯からのご協力ををお願いしています。



### お願いする金額

1世帯あたり1,000円です。

### 期間

7月1日から31日まで、集落の世話人さんに集金をお願いしています。

会費は、町社協と地区社協で半分ずつ活用しています。

#### 【地区社協】

各地区社協で使い道を決め、様々な行事や広報活動等、皆様にとって身近な福祉活動のために活用しています。

#### 【町社協】

町民の皆様へ社協の取り組みや地域の皆様の活動の様子、お知らせ等を紹介する啓発活動や、福祉活動に活用しています。

# 勝手に表彰!

第30号



せといくよ  
勢登郁代さん(山形)



智頭町で生活支援コーディネーターとして活躍されている勢登さんを紹介します。伊丹市と都市間交流のあった山形地区振興協議会に来たのをご縁に、平成24年地域おこし協力隊第1期生で3年間活動した後に起業し、引き続き智頭町に住まわれ10年。山形地区的森のミニディ立上げ時に関わったり、百歳体操・オレンジカフェ(認知症カフェ)の普及に努めたり、各地の防災マップづくりにも参加するなど、

智頭町のみなさんの“健康づくり、居場所づくり”に、奔走されています。

気さくな性格で、智頭の生活にもすっかり溶け込み、地区の様々な行事に参加されています。

勢登さんは「気軽に悩みを相談してもらったり、百歳体操が口コミで増えたり、みんなに喜んでもらえることが嬉しいし、有難いです」と話されます。明るい笑顔で「人との繋がりを大切に」活動している勢登さんを勝手ながら表彰します。



オレンジカフェの様子

「志あわせ」の  
ご意見・ご感想を  
お寄せください  
  
抽選で3名様に  
『トスク商品券』を  
プレゼントします。

## ①応募方法

ハガキまたは応募用紙等に住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ、ご意見・ご感想をご応募ください。

## ②応募先

〒689-1402

智頭町智頭1875番地

智頭町社会福祉協議会 総務課

電話: 75-2326 FAX: 75-4110

メール: chizu0804@jade.plala.or.jp

## ③締め切り

2022年7月31日(日)

※当日消印有効

地域での見守り・支え合いの活動は、社協の取り組みとして素晴らしい活動がなされると強く感じました。サロン・ミニディ、防災福祉マップ、愛の輪推進員など住民に根付いた活動が行われていて、大変力強く思いました。この活動がたくさんの方々に広まり、「支え合いで、将来、世代交代していくところ、近所の方々と週に何度も公に集まり、私の作った夕食を食べてもらうことが私の「野望」です。この「野望」が社会活動への参加となり、実現できるようにがんばりたいです。

(那岐 70代男性)

☆ご感想ありがとうございました。  
(土師 40代女性)

読者の  
ひろば



社協というとデイサービスや

福祉サービスなど、今の私の生活にはあまり縁のない感じでしたが、いましたが、「住民の社会活動への参加」が土台となっていました。

私が嫁に来たころ、近所の方々にとてもお世話をなったので、将来、世代交代していくところ、近所の方々と週に何度も公に集まり、私の作った夕食を食べてもらうことが私の「野望」です。この「野望」が社会活動への参加となり、実現できるようにがんばりたいです。

## ご寄付ありがとうございました

(2022年3月～2022年5月まで)

\*一金 5,000円

城西教会 様

\*古布・タオル・裁断布 等

沖田 妃佐世 様 藤原 和子 様

大坪ミニディ 様

若杉会 様

匿名多数

\*玄米 (30kg×2)

匿名(自立の家)

\*折り紙作品

中村 利江 様

\*ばれっと三田・自立の家

あおぞら(グループホーム)配食サービスへ

各種食材

各地区給食ボランティア 様 匿名多数

## ～古着・古布の寄付ご協力のお願い～

家庭で不要になった古着、タオル、ハギレなどを寄付していただけませんか。



①吸水性が良く、清潔なもの

②浴衣・Tシャツなどの古着

裁断していただく場合の目安：15cm×20cmくらい

※大変お手数ですが、智頭町社協までご持参ください。

持参が難しい場合は、下記へご連絡ください。

お問合せ：総務課 電話75-2326

## ～ゴミ箱助成募集終了のお知らせ～

令和4年度のゴミ箱助成は終了しました。

香典返し寄付金は、サロン活動等で地域の皆様に活用していただいています。

5		4						3		月	
										ご寄付額(円)	住所
五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	金一封	金一封	三〇、〇〇〇	金一封	金一封	五〇、〇〇〇	金一封	五〇、〇〇〇	故人のお名前
芦津	芦津	三田	埴師	市瀬	智頭	三吉	智頭	大背	埴師	市瀬	年齢
武田儀一	寺谷朋子	白間貞子	山本寿恵子	山本朝代	梶川信	河本喜久枝	岡本路子	柴田幸枝	國政重次郎	葉狩悦子	寄付者ご芳名
94	92	95	90	94	94	91	98	91	72	60	
武田政一	寺谷正史	白間扶	山本慎一	山本浩視	梶川千代子	河本均	匿名	柴田善彦	匿名	葉狩勝正	

## 掲示板

# 仲間大募集

このコーナーは、住民の皆さんと交流・趣味・運動等の仲間を募集するコーナーです。

## 一緒に踊りましょう♪ ～どうだんつづじ踊りの会～

踊り好きが集まって、毎月2回民踊の練習を行っています。

踊りは認知症予防や健康にとても良いですよ。

興味のある方は是非参加してください。みんなで待っています♪



日 時：毎月第2、第3金曜日

13:00～15:00

場 所：ひまわり会館 2階

お問合せ：75-1649（国岡）

## このコーナーを使って 仲間づくりを募集しませんか？

子育て世代で集まりたい、趣味の活動を広げたい、運動する仲間がほしい、同じ悩みをもつ方と話をする機会を作りたい等々、まずは智頭町社協までご相談ください。

お問合せ：総務課 電話75-2326

香典返し等寄付金ありがとうございました  
(2022年3月～2022年5月まで)

◎了解をいただいた方のみ掲載しております。敬称略

## ふれあいサロン紹介

Vol.68

・登録数 108グループ ・登録者数 1,449人（6月1日現在）

### 月と星の会（富沢）

平成22年に波多部落の小・中学生と保護者で活動を始めました。夜空に明るく輝く月と星のように、明るく楽しく活動ができるようにと名付けました。家でゲームばかりするのではなく、外で体を動かしてほしいと思い、親子でグラウンドの草取りや雪かき、留学生と一緒に米づくり、雪遊び、サッカー、花火など元気よく活動してきました。

子ども達も大学生や社会人になり、町外・県外で暮らしなかなか会うことができなくなりましたが、とても仲が良く帰省した時や休みがある時には声をかけあって、バーベキューをしたり焼き肉を食べに行ったり親睦を図っています。

長年続けたアフリカに送る米作りは終了となりましたが、今年からは智頭町に住む留学生さん達と、畑や田んぼで農業の体験をしてもらったり、収穫した作物を食べてもらったり、みんなで楽しみながら交流していきたいと思っています。



親子みたいに仲良しです♪



みんなで賑やかに植えました



桜が満開できれいでした

ふれあいサロンは一部赤い羽根共同募金の配分金で運営しています。

## ふれあいの場

### ミニディ紹介

Vol.38

60歳以上の方の健康の維持・増進・生きがいのある生活を支援する活動「ミニディ」の活動を紹介します。

登録数:35グループ 登録者数:593人（6月1日現在）

### 中原楽しみ会（山郷）

ミニディを始めて24年。60代から90代の20名が毎月1回、中原夢来館（公民館）に集まって交流しています。

「昔はかごやお手玉を作ったり、マフラーを編んだり、ゲームや歌を歌ったりしていたけど、今はみんなと話をするのが一番の楽しみです」と、発足時から参加の92歳女性は、お元気で歩いて参加しています。

当初から昼食は手作りすることにこだわり、2班が交代でしていますが、コロナ禍になり、安全対策で業者から弁当をとるなど、昼食については臨機応変に対応していくようになりました。使用前には必ず食器を煮沸消毒。マスクの着用・手洗い・消毒・部屋の換気に気を付けています。

今後の目標は、男性会員を増やしたいし、頭と体の体操を取り入れた健康教室を開いて、みんなが元気で楽しめるミニディにしていきたいと思っています。



昼食当番は、東・西で2班に分け交代でしています！



4月から新会員が3名増えて賑やかに♪



いろんな人と話ができるように、くじで席を決めます♪